

## 【インド】

### 2月の市場動向トピックス

- 2018年2月の訪日インド人数は、前年同月比5.5%増の7,900人となり、2月として過去最高を記録。
- 旅行博への出展やセミナー・商談会の実施、現地旅行会社・メディアの招請など、継続的な訪日旅行プロモーションが、旅行先としての日本の認知度向上と旅行会社商品造成を後押ししており、2月においても訪日者数の増加に寄与したと考えられる。

### 2月の主なプロモーション活動

- 1月31日～2月2日に、デリーにて開催された旅行博「SATTE」に、旅行会社・地方自治体・ホテルなど9団体とともに出展した。訪日需要の掘り起こしを目的として、日本の美しさや技術を訴求する展示デザインを起用するとともに、日本に旅行で訪れた経験が比較的少ないインド市場の来場者に、折り紙やVR体験を通じて、日本の持つ様々な魅力をPRした。
- インド市場最大の旅行シーズンである春季の訪日需要喚起と、訪日旅行商品の新規造成を目的として、2月3日に在ベンガルール日本国総領事館およびVFS(ビザ申請センター)と共催で、観光セミナーを実施した。さらに、同日に開かれた日本祭り「Japan Habba」にも出展。セミナーでは、参加した現地主要旅行会社30団体59名に対し、総領事館の査証発給要件緩和の説明、旅行会社に対して人気のゴールデンルート広島、東北ルート紹介をおこなった。Japan Habbaには約4,000人が来場し、ブースでは約700部の日本紹介パンフレットを配布した。



日本祭りの案内



出展ブース



観光セミナー

- 冬の日本の魅力を発信するため、2月4日～11日に北インドで有力な新聞社 Danik Jargan の記者およびフリージャーナリスト計2名を、広島・京都・東京へ招請し、その取材内容を同紙の他、The Hindu、トラベルブログ、Instagramに掲載し、露出の増加を図った。



伏見稲荷大社



厳島神社